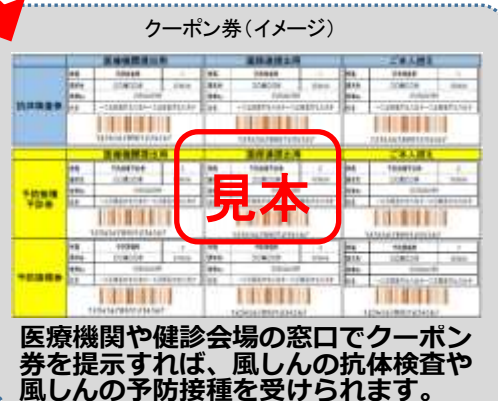
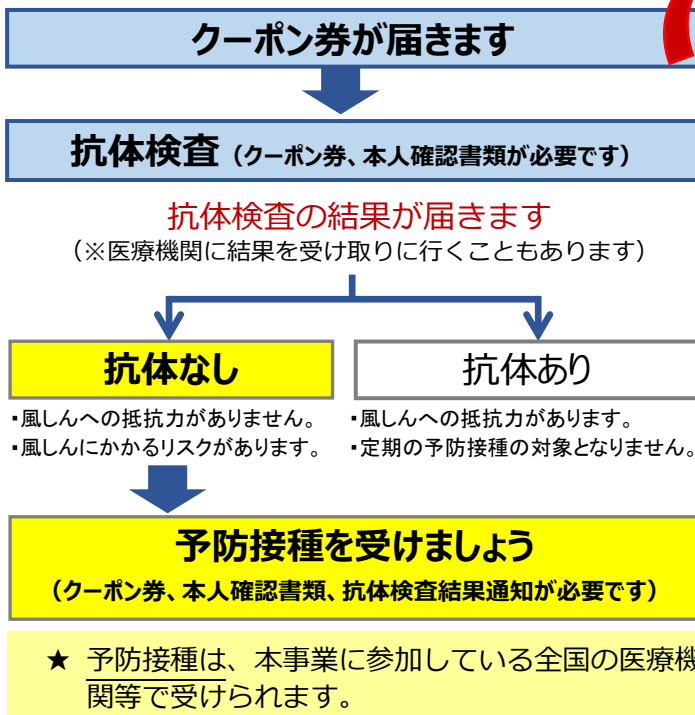


2022 年 3 月 31 日までの 3 年間に限り、 風しん抗体検査・予防接種を公費で受けられます。

- ▶ 風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性は、**抗体保有率が他の世代に比べて低く(約 80%)なっています。**
- ▶ そのため、2022 年 3 月 31 日までの期間に限り、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日の間に生まれた男性を風しんの定期接種[※]の対象者とし、クーポン券をお届けします。
※予防接種法(昭和 23 年法律第 68 号)第 5 条第 1 項の規定に基づく定期の予防接種
- ▶ 今年度は特に患者数の多い昭和 47 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの方にクーポン券をお届けします。クーポン券が届かなかった方についても、該当になっており希望される方はクーポン券を送りますのでご連絡ください。(29-7071)
- ▶ 対象者の方には、**お届けするクーポン券を利用して、まず抗体検査を**受けていただき、抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方は、定期接種の対象となります。

～抗体検査・予防接種までの流れ～

期間は 3 年間で
す！



- ★ 抗体検査は、
 - ① 事業所健診や特定健診の機会に、その場で受けられます。
※勤務先の企業(事業所健診の方)や市区町村(特定健診の方)にお問い合わせください。
 - ② 本事業に参加している全国の医療機関等で受けられます。
- ★ 予防接種は、当日の体調や基礎疾患等で受けられない可能性もあります。また、接種後、副反応が発生するおそれもありますので、必ず医師と相談してください。

★ 抗体検査・予防接種を受けられる医療機関等のリストは、2019 年 3 月末以降、厚労省 HP に掲載予定です。

よくある
ご質問

Q どうして風しんの追加的対策を実施しているのですか？

A 風しんは、感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる、感染力が強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群(眼や耳、心臓に障害が出ること)になる可能性があります。大人になって感染すると無症状～軽症のことが多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。また、無症状でも他人に風しんをうつすことがあるので、感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。



風しんの追加的対策の詳細情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策

検索

お問合せ先
健康福祉課健康推進グループ TEL 29-7071